

生々流転集（Ⅱ）

刃物屋の砥石の乾く春日かな

向 摯

薄氷に羽毛の寄する岸边かな

坂上 隆

ふりかへる師の墓までも轉れり

三吉みどり

水音やひかりの中に辛夷の芽

菊池 民子

ゆく年の五色の付箋備忘録

林 敏子

智慧伊豆の墓白々と冬日影

井上 幸夫

睡蓮の芽に水底の泥がつき

高橋 香帆